

2016年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	全学科							
科目名	経済学の基礎							
科目区分	人間形成科目	単位数	2	開講時期	2年後期			
必修・選択の別	選択							
担当者	坂田裕輔							
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・経済学を学ぶうえで必要となる、基礎的な概念を身につける。 ・経済理論と現実に行っている事象を結びつけられるようになる。 ・日本経済の動向や社会現象について、関心を持つようになる。 							
日程と内容	第1回 序論 第2回 価格メカニズム 第3回 市場の効率性 第4回 市場の失敗 第5回 市場の限界 第6回 経済成長と経済力 第7回 貨幣と金融 第8回 政府の役割 第9回 南北問題：貧困撲滅への取り組みとBOPビジネス 第10回 経済成長と自立的発展 第11回 グローバル社会における貿易 第12回 国際的な金融システム 第13回 グローバル社会における環境問題 第14回 気候変動問題 第15回 フェアトレードとマイクロファイナンス 定期試験							
成績評価基準	定期試験	60%	実技	0%	臨時試験	40%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	0%	計	100%				
授業到達目標の達成度	おおむね、達成できた。							
反省点	受講者が多かったため、臨時試験が1回しかできなかった。							
来年度の計画	臨時試験の回数を増やすことで理解度の確認と講義内容の定着を図りたい。							
授業評価アンケートに対するコメント	<p>雰囲気の良い方が良かった。→今後も努力します。</p> <p>テストが予測できない。小テストかレポートでもあれば、レポートを課してほしい。受講者が多すぎる。</p> <p>→来年度は受講生が減る見込みですので、対応できると思います。</p> <p>提出物があることは予告してほしい。→出席が前提なので、提出物があるから出席するというのは受け入れられない。</p> <p>遅刻してきてカードをかざして帰る人がいる。→問題だと思います。が、講義が始まったら、教員は講義に集中して、少しでも良い講義を提供すべきことに注力すべきと考えています。</p>							
履修登録者数	102名	定期試験 受験者数	74名	合格者数	65名	合格率	88%	